

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 株式会社 オーエム製作所  
 コード番号 6213 URL <http://www.omltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 林 三樹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部長 (氏名) 佐脇 祐二  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 大

TEL 06-6350-1200

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,043	△31.1	1,282	△40.7	1,314	△39.3	765	△39.9
21年3月期第2四半期	8,773	—	2,163	—	2,165	—	1,274	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	24.11	—
21年3月期第2四半期	39.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	17,079	11,533	67.5	363.14
21年3月期	18,458	11,183	60.6	352.12

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 11,533百万円 21年3月期 11,183百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,950	△29.8	2,220	△43.9	2,240	△43.2	1,160	△49.0	36.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	33,200,000株	21年3月期	33,200,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,440,231株	21年3月期	1,439,193株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	31,760,414株	21年3月期第2四半期	32,142,644株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での景気低迷に対して、政府の一連の景気対策や企業の在庫調整が進み、一部の企業に景気の底入れの兆しが見えますものの、設備投資の低迷や、雇用情勢の悪化など依然、景気回復の足どりは重い状況が続いております。

当社の主要事業である工作機械部門が属している業界の受注状況は、自動車関連をはじめ製造業全般からの設備投資の需要が低迷し、前年同期比で7割を越える受注減と非常に厳しい状況となっております。

当社グループはこのような厳しい状況におきまして、売上の確保に向け、既受注機の生産に注力すると共に、内製化の推進や固定費の削減などに取り組み、企業体質の強化に取り組みました。

しかしながら、受注環境は非常に厳しく、建設機械、航空機、造船業界等からの需要が低迷し、当第2四半期連結累計期間の受注額（キャンセル除く）は41億9千8百万円（前年同期比46.4%減）、受注残は84億2千8百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、60億4千3百万円（前年同期比31.1%減）、営業利益12億8千2百万円（前年同期比40.7%減）、経常利益13億1千4百万円（前年同期比39.3%減）、四半期純利益7億6千5百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [一般機械の製造販売事業]

自動機械部門は、比較的堅調な薬品業界、食品業界などへ省スペースのコンパクトカートナーや省エネのエアレスケーサーを開発し拡販に努めました。また、工作機械部門は重電を中心としたエネルギー関連業界へ大型立型旋盤の拡販に取り組むと共に、従来機に比べ、コストパフォーマンスに優れたNeo-EXシリーズを開発し、グローバルに販売を開始致しました。売上につきましては、工作機械部門の納期変更による生産調整により計画を下回る結果となりました。

売上高は、55億9千4百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益13億3千2百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

#### [鋳造品の製造販売事業]

鋳造品の製造販売事業は、生産調整に入った工作機械業界からの受注が大きく後退し、受注・生産とも低調に推移致しました。原価低減や、一時帰休による生産調整、経費削減に努めましたが、売上高は、3億1千3百万円（前年同期比71.1%減）、営業損失6千8百万円となりました。

#### [その他の事業]

その他の事業はガソリンスタンド、ゴルフ練習場等による収入を計上しました。

売上高は、1億3千5百万円（前年同期比26.4%減）、営業利益8百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は170億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億7千8百万円減少しております。主に売上債権の回収により、受取手形及び売掛金が減少したことによりです。

負債は55億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億2千8百万円減少しております。主に生産量の減少により支払手形及び買掛金が減少したことによりです。

純資産は115億3千3百万円となり、自己資本比率は67.5%と前連結会計年度末に比べて6.9%増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は53億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して8千9百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は9億9千4百万円の収入超過となりました。主に税金等調整前四半期純利益を13億1千万円計上したことと、売上債権の資金回収により12億3千5百万円の資金が増加したことによる一方、仕入債務が8億9千8百万円減少したことによりです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億4百万円の支出超過となりました。主に電気炉設備等の有形固定資産の取得に3億1千2百万円、定期預金の預入に3億円支出したことによりです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」4億8千万円の支出超過となりました。主に配当金の支払に4億7千3百万円支出したことによりです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結売上高は当初計画を下回る水準で推移した結果より、通期の予想売上高も同額の減少を見込んでおります。よって、連結売上高の予想といたしましては、通期119億5千万円を見込んでおります。

一方、費用につきましては、生産効率の向上と、一層の固定費の削減に努め、当第2四半期は当初計画を上回る成果を計上したことにより、通期の営業利益及び経常利益も同額の増加を見込んでおり、当期純利益については、前回公表数字と同額を予想しております。

尚、平成21年5月8日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	2,000	1,980	1,160	36 52
今回修正予想 (B)	11,950	2,220	2,240	1,160	36 52
増減額 (B - A)	△550	220	260	—	—
増減率 (%)	△4.4	11.0	13.1	—	—
前期実績	17,021	3,955	3,946	2,276	72 62

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年間の償却予定額を期間按分して計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,765	6,854
受取手形及び売掛金	3,466	4,796
商品及び製品	529	353
仕掛品	1,448	1,640
原材料及び貯蔵品	84	116
その他	339	403
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	12,616	14,147
固定資産		
有形固定資産	3,012	3,191
無形固定資産	36	33
投資その他の資産		
投資有価証券	657	555
その他	756	532
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	1,413	1,085
固定資産合計	4,462	4,310
資産合計	17,079	18,458
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,764	2,663
短期借入金	1,765	1,765
未払法人税等	471	701
賞与引当金	341	408
製品保証引当金	97	76
その他	925	1,424
流動負債合計	5,364	7,038
固定負債		
退職給付引当金	104	86
役員退職慰労引当金	41	69
その他	35	80
固定負債合計	181	236
負債合計	5,546	7,274

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	9,900	9,610
自己株式	△474	△474
株主資本合計	11,386	11,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	148	88
為替換算調整勘定	△1	△2
評価・換算差額等合計	146	85
純資産合計	11,533	11,183
負債純資産合計	17,079	18,458

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,773	6,043
売上原価	5,546	3,745
売上総利益	3,227	2,298
販売費及び一般管理費	1,063	1,016
営業利益	2,163	1,282
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	8	8
作業屑売却益	6	—
補助金収入	—	26
その他	8	18
営業外収益合計	27	55
営業外費用		
支払利息	16	14
その他	9	8
営業外費用合計	26	22
経常利益	2,165	1,314
特別利益		
固定資産売却益	—	11
貸倒引当金戻入額	9	—
特別利益合計	9	11
特別損失		
固定資産除却損	27	—
ゴルフ会員権評価損	—	1
投資有価証券評価損	2	—
60周年記念費用	—	14
その他	0	—
特別損失合計	30	15
税金等調整前四半期純利益	2,143	1,310
法人税、住民税及び事業税	796	458
法人税等調整額	73	86
法人税等合計	869	544
四半期純利益	1,274	765

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,143	1,310
減価償却費	210	228
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△67
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11	△20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	△28
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	16	14
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	734	1,235
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△170	47
仕入債務の増減額 (△は減少)	169	△898
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△99	△88
その他	△12	△50
小計	2,930	1,680
利息及び配当金の受取額	11	10
利息の支払額	△16	△14
法人税等の支払額	△1,387	△681
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,538	994
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△241	△300
有形固定資産の取得による支出	△287	△312
有形固定資産の売却による収入	0	12
無形固定資産の取得による支出	△8	△11
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	3	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534	△604
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△5	△6
自己株式の取得による支出	△3	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△479	△473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488	△480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	514	△89
現金及び現金同等物の期首残高	4,537	5,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,052	5,312

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	一般機械 の製造 販売事業 (百万円)	鋳造品の製 造販売事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,504	1,085	184	8,773	—	8,773
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	111	7	129	(129)	—
計	7,514	1,197	191	8,903	(129)	8,773
営業利益	2,066	84	9	2,161	2	2,163

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	一般機械 の製造 販売事業 (百万円)	鋳造品の製 造販売事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,594	313	135	6,043	—	6,043
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	292	6	299	(299)	—
計	5,594	606	141	6,342	(299)	6,043
営業利益又は営業損失(△)	1,332	△68	8	1,271	10	1,282

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	641	652	285	0	1,579
II 連結売上高(百万円)					8,773
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.3	7.4	3.3	0.0	18.0

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	85	512	2	0	600
II 連結売上高(百万円)					6,043
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	1.4	8.5	0.0	0.0	9.9

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

該当事項はありません。